

自然保育活動 活動報告書

学校法人藤本学園 河戸こども園

活動について

- ・年間を通して 2 か所の畑で野菜を栽培し、収穫した野菜を月に 1 度設定している白ご飯の日に園内で調理して喫食しました。
- ・隣接の寺の境内・2 か所の畑を自然フィールドとして活動しており、樹木につく虫やフィールド内に生息している生き物の観察、落ち葉や花を使っての製作や遊びを体験しました。

環境構成について

- ・長期間使用されていない畑を近隣の方のご厚意により借り受け、周りの草刈り・がれきの撤去等をして子ども達が安全に活動できるように整備しました。
- ・隣接のお寺の耕運機を使用させてもらい、地域の方から年間を通しての土つくりを教えていただきながら畑を作りました。

印象的だった事例について



毎年、季節の野菜を育てています。

種蒔・苗植え・水やり・草抜きとたくさんの活動に今年も全クラスが関わりました。





収穫した野菜は、月に1度白ご飯の日に園で調理していただいています。
無農薬で育った畑の野菜は虫や鳥にとってもごちそうです。
冬場、ヒヨドリがブロッコリーの葉を食べにやってきます。
年長が稲作り用に作った案山子を立ててみました。



夏、鹿に新芽を食べられる被害にあったサツマイモは、「大きくなあれ」の大合唱の祈りとダンスが通じたのか、この後、ネットなどで保護した結果、秋に無事に収穫できました。
お芋ほりも楽しかったのですが、子ども達は芋づるの綱引きが何より楽しかったようです。



活動の中でたくさんの植物や生き物に遭遇しました。

落ちた花卉はおまごとの材料になり、子ども達の歓声の先には虫やカエルやカニがいました。徒歩登園の途中に見つけたカニは観察した後、用水路に放しました。



散歩の途中や畑でたくさん見つけることができるカタツムリは大人気で、年長で飼育することになりました。

多数のカタツムリ全部がルパンと名付けられ、子ども達が野菜の切れ端などを餌に持ってきました。

「にんじん食べると赤いうんちが出るよ」と、発見も多数あり、子ども達のカタツムリ愛は育ちましたが、3月、卒園を前にみんなで自然に還しました。